

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2002年3月26日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。 （ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。） 分配対象額の範囲内で、1万円当たり1円単位で安定的な分配を行うことを基本とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

ワールド・ソブリンインカム （愛称 十二単衣）

第283期（決算日 2025年10月27日） 第286期（決算日 2026年1月26日）
第284期（決算日 2025年11月25日） 第287期（決算日 2026年2月25日）
第285期（決算日 2025年12月25日） 第288期（決算日 2026年3月25日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）」は、2026年3月25日に第288期決算を迎えたので、過去6ヵ月間（第283期～第288期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落	中 率	期 騰 落			
	円		円	%	ポイント	%	%	百万円
259期(2023年10月25日)	7,396		10	△1.4	480.37	△0.5	94.6	49,229
260期(2023年11月27日)	7,659		10	3.7	495.87	3.2	89.0	50,473
261期(2023年12月25日)	7,742		10	1.2	495.82	△0.0	89.2	50,332
262期(2024年1月25日)	7,797		10	0.8	499.98	0.8	95.1	50,035
263期(2024年2月26日)	7,895		10	1.4	510.11	2.0	96.2	50,051
264期(2024年3月25日)	7,966		10	1.0	515.05	1.0	91.7	50,067
265期(2024年4月25日)	7,914		10	△0.5	515.04	△0.0	89.6	49,357
266期(2024年5月27日)	8,105		10	2.5	527.37	2.4	91.3	50,211
267期(2024年6月25日)	8,298		10	2.5	539.09	2.2	90.0	51,105
268期(2024年7月25日)	7,992		10	△3.6	522.42	△3.1	91.6	48,106
269期(2024年8月26日)	7,856		10	△1.6	515.39	△1.3	94.1	46,910
270期(2024年9月25日)	7,920		10	0.9	515.76	0.1	97.5	46,939
271期(2024年10月25日)	8,073		10	2.1	527.79	2.3	95.9	47,289
272期(2024年11月25日)	8,017		10	△0.6	527.34	△0.1	92.5	46,645
273期(2024年12月25日)	8,077		10	0.9	533.65	1.2	96.0	46,668
274期(2025年1月27日)	7,968		10	△1.2	529.93	△0.7	92.8	45,817
275期(2025年2月25日)	7,812		10	△1.8	513.93	△3.0	94.1	44,630
276期(2025年3月25日)	7,894		10	1.2	521.24	1.4	96.9	44,778
277期(2025年4月25日)	7,745		10	△1.8	509.81	△2.2	95.6	43,562
278期(2025年5月26日)	7,679		10	△0.7	506.65	△0.6	96.3	42,820
279期(2025年6月25日)	7,931		10	3.4	523.75	3.4	94.7	43,856
280期(2025年7月25日)	8,016		10	1.2	529.67	1.1	96.4	43,872
281期(2025年8月25日)	8,007		10	0.0	531.14	0.3	97.0	43,484
282期(2025年9月25日)	8,144		10	1.8	540.55	1.8	96.3	43,719
283期(2025年10月27日)	8,393		10	3.2	557.43	3.1	94.9	44,419
284期(2025年11月25日)	8,478		10	1.1	568.07	1.9	93.6	44,569
285期(2025年12月25日)	8,461		10	△0.1	568.66	0.1	95.5	44,095
286期(2026年1月26日)	8,436		10	△0.2	577.07	1.5	96.6	43,626
287期(2026年2月25日)	8,580		10	1.8	578.80	0.3	96.4	44,003
288期(2026年3月25日)	8,471		10	△1.2	574.06	△0.8	94.3	43,029

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。(以下同じ。)

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債組入比率	債券先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第283期	(期首) 2025年9月25日	円 8,144	% —	ポイント 540.55	% —	% 96.3	% —
	9月末	8,148	0.0	540.73	0.0	96.6	—
	(期末) 2025年10月27日	8,403	3.2	557.43	3.1	94.9	—
第284期	(期首) 2025年10月27日	8,393	—	557.43	—	94.9	—
	10月末	8,401	0.1	560.49	0.5	95.1	—
	(期末) 2025年11月25日	8,488	1.1	568.07	1.9	93.6	—
第285期	(期首) 2025年11月25日	8,478	—	568.07	—	93.6	—
	11月末	8,511	0.4	569.27	0.2	93.7	—
	(期末) 2025年12月25日	8,471	△0.1	568.66	0.1	95.5	—
第286期	(期首) 2025年12月25日	8,461	—	568.66	—	95.5	—
	12月末	8,504	0.5	569.85	0.2	93.0	—
	(期末) 2026年1月26日	8,446	△0.2	577.07	1.5	96.6	—
第287期	(期首) 2026年1月26日	8,436	—	577.07	—	96.6	—
	1月末	8,424	△0.1	563.66	△2.3	92.5	—
	(期末) 2026年2月25日	8,590	1.8	578.80	0.3	96.4	—
第288期	(期首) 2026年2月25日	8,580	—	578.80	—	96.4	—
	2月末	8,600	0.2	580.28	0.3	96.4	—
	(期末) 2026年3月25日	8,481	△1.2	574.06	△0.8	94.3	—

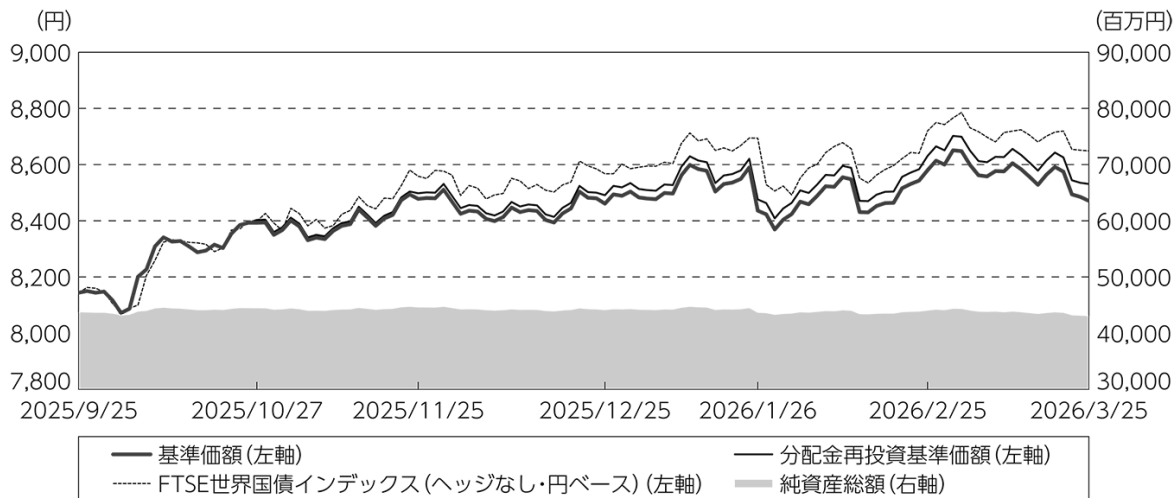
(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）（以下、「当ファンド」といいます。）の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社（以下、総称して「LSEグループ」といいます。）は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）（以下、「本指数」といいます。）にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または (b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年9月26日～2026年3月25日）



第283期首：8,144円

第288期末：8,471円（既払分配金（税引前）：60円）

騰落率：4.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2025年9月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・先進国の国債に分散投資することにより、安定的な利息収入を確保したこと。
- ・投資しているすべての外国通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・投資国の国債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。

投資環境

（2025年9月26日～2026年3月25日）

<投資国の債券市場>

投資国の債券市場では、米国とカナダが利下げを実施する一方、オーストラリアと日本が利上げを実施したことから、各国の国債利回りはまちまちな動きとなりました。しかし、2026年3月に入ると、米国・イスラエルとイランの軍事衝突に伴う原油価格の急騰を背景にインフレへの警戒感が高まり、各国の国債利回りは急上昇（価格は急落）する展開となりました。

<為替市場>

為替市場では、世界的な株高基調が続き投資家のリスク選好が優勢となったことや、拡張的な財政政策と緩和的な金融政策を志向する高市首相の誕生を受けて、主要通貨に対して円安が進行しました。2026年3月に入ると、原油価格の急騰に伴う日本の貿易収支悪化への懸念に加え、海外主要中央銀行の金融政策を巡る市場の織り込みが引き締め方向に修正されたことなどを背景に、円安基調が継続しました。この結果、当作成期間においては、オーストラリアドルを筆頭に投資しているすべての外国通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年9月26日～2026年3月25日）

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.00年～7.71年の範囲内での推移となり、作成期末は6.31年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当作成期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は84.1%～95.4%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される局面では、外貨建資産の投資比率を引き下げる対応を行いました。当作成期間における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、ユーロ、円、イギリスポンドは高め、米ドルがやや低めとなりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資していません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

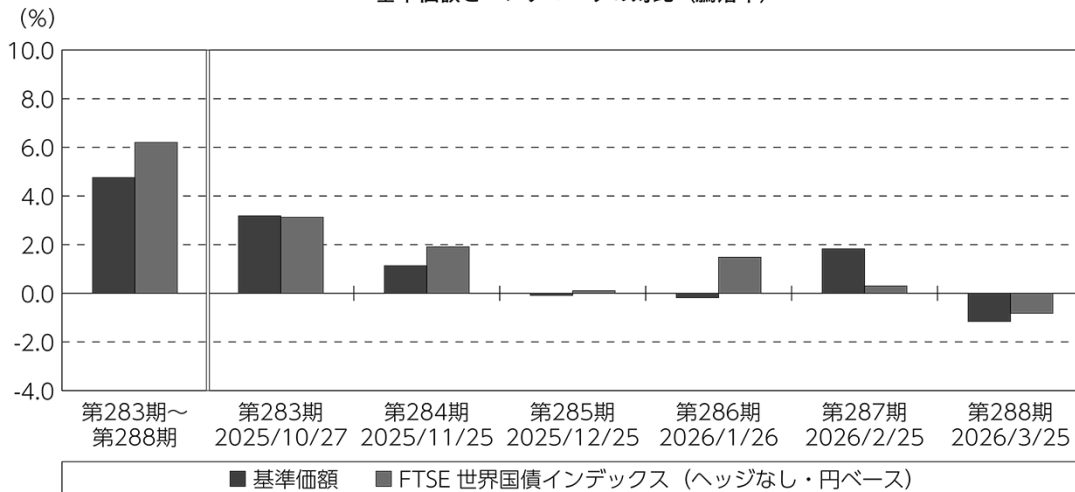
※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年9月26日～2026年3月25日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.4%下回りました。投資国の国債利回りが上昇する中、ベンチマークと比較しファンドのデュレーションが実質的に長めであったことや、当ファンドが投資していない中国国債のパフォーマンスが好調であったことなどがマイナスとなりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

（2025年9月26日～2026年3月25日）

当作成期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりいたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第283期	第284期	第285期	第286期	第287期	第288期
	2025年9月26日～ 2025年10月27日	2025年10月28日～ 2025年11月25日	2025年11月26日～ 2025年12月25日	2025年12月26日～ 2026年1月26日	2026年1月27日～ 2026年2月25日	2026年2月26日～ 2026年3月25日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.119%	0.118%	0.118%	0.118%	0.116%	0.118%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	317	327	332	339	351	356

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、米国・イスラエルとイランの軍事衝突の長期化への懸念が残る中、原油価格の上昇を通じたインフレ圧力の高まりが意識される局面にあります。一方、トランプ大統領は紛争の長期化を望んでいないと推測されることや、エネルギー価格の上昇が今後の世界経済の下押し要因として作用する側面も踏まえると、各国の長期金利の上昇余地は限定的と見ています。

為替市場では、原油価格の急騰に伴う日本の貿易収支悪化への懸念に加え、インフレ期待の高まりを受けて海外主要中央銀行が金融引き締め姿勢を強める一方、日銀は慎重な姿勢を維持すると予想されることなどを背景に、円安基調が続く可能性が高いと判断しています。また、日本の消費者や企業による海外デジタルサービスの利用拡大に伴うデジタル赤字の拡大など、構造的な円売り圧力も根強く、円安を後押しする要因になると見ています。

（運用方針）

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデレレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2025年9月26日～2026年3月25日）

項 目	第283期～第288期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 48	% 0.573	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(23)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(23)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.581	
作成期間中の平均基準価額は、8,431円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

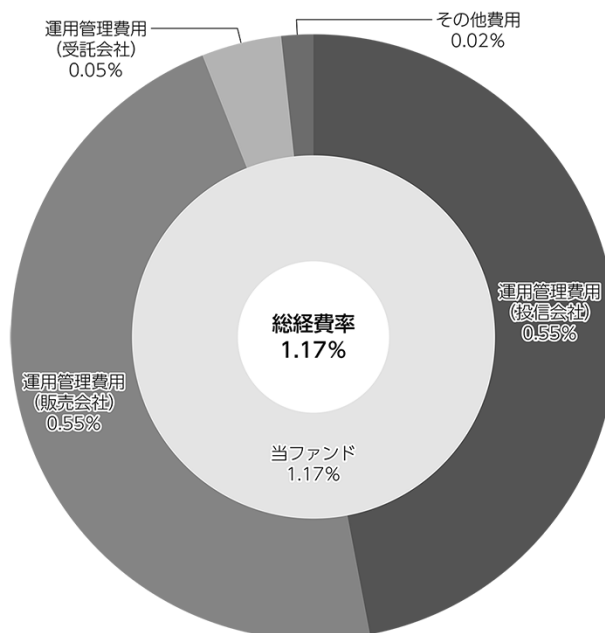
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年9月26日～2026年3月25日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第283期～第288期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド		—	—	1, 158, 845	2, 994, 398

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2025年9月26日～2026年3月25日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年3月25日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第282期末	第288期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド		17, 538, 650	16, 379, 805	42, 816, 811

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年3月25日現在）

項 目	第288期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	42, 816, 811	99. 2
コール・ローン等、その他	323, 975	0. 8
投資信託財産総額	43, 140, 786	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（39, 596, 323千円）の投資信託財産総額（44, 532, 551千円）に対する比率は88. 9%です。

（注）外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=158. 66円、1カナダドル=115. 35円、1ユーロ=184. 51円、1イギリスポンド=213. 19円、1オーストラリアドル=111. 03円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第283期末	第284期末	第285期末	第286期末	第287期末	第288期末
	2025年10月27日現在	2025年11月25日現在	2025年12月25日現在	2026年1月26日現在	2026年2月25日現在	2026年3月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	44,587,493,223	44,701,963,288	44,242,572,152	43,759,396,502	44,132,275,734	43,140,786,345
コール・ローン等	369,862,279	245,513,537	351,847,480	331,043,753	333,583,757	323,969,586
ワールド・ソブリンインカムマザーファンド(詳細欄)	44,217,627,047	44,347,696,389	43,890,718,878	43,428,347,533	43,798,687,140	42,816,811,613
未収入金	—	108,751,060	—	—	—	—
未収利息	3,897	2,302	5,794	5,216	4,837	5,146
(B) 負債	167,847,621	132,168,390	147,381,496	132,572,324	128,994,417	111,282,894
未払収益分配金	52,926,888	52,572,490	52,118,049	51,716,814	51,285,947	50,796,406
未払解約金	70,157,123	38,742,294	53,068,652	35,785,175	36,073,314	21,525,078
未払信託報酬	44,551,470	40,659,994	41,994,831	44,856,740	41,437,844	38,776,768
その他未払費用	212,140	193,612	199,964	213,595	197,312	184,642
(C) 純資産総額(A－B)	44,419,645,602	44,569,794,898	44,095,190,656	43,626,824,178	44,003,281,317	43,029,503,451
元本	52,926,888,780	52,572,490,968	52,118,049,019	51,716,814,006	51,285,947,521	50,796,406,285
次期繰越損益金	△ 8,507,243,178	△ 8,002,696,070	△ 8,022,858,363	△ 8,089,989,828	△ 7,282,666,204	△ 7,766,902,834
(D) 受益権総口数	52,926,888,780口	52,572,490,968口	52,118,049,019口	51,716,814,006口	51,285,947,521口	50,796,406,285口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,393円	8,478円	8,461円	8,436円	8,580円	8,471円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第283期8,507,243,178円、第284期8,002,696,070円、第285期8,022,858,363円、第286期8,089,989,828円、第287期7,282,666,204円、第288期7,766,902,834円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第283期0.8393円、第284期0.8478円、第285期0.8461円、第286期0.8436円、第287期0.8580円、第288期0.8471円です。

(注) 当ファンドの第283期首元本額は53,686,008,997円、第283～288期中追加設定元本額は45,527,197円、第283～288期中一部解約元本額は2,935,129,909円です。

○損益の状況

項 目	第283期	第284期	第285期	第286期	第287期	第288期
	2025年9月26日～ 2025年10月27日	2025年10月28日～ 2025年11月25日	2025年11月26日～ 2025年12月25日	2025年12月26日～ 2026年1月26日	2026年1月27日～ 2026年2月25日	2026年2月26日～ 2026年3月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	81,198	61,640	74,968	101,018	96,734	100,790
受取利息	81,198	61,640	74,968	101,018	96,734	100,790
(B) 有価証券売買損益	1,415,831,714	540,949,643	4,918,270	△ 32,240,608	832,742,902	△ 464,091,333
売買益	1,425,927,714	542,495,975	6,661,875	4,101,703	834,978,406	1,314,196
売買損	△ 10,096,000	△ 1,546,332	△ 1,743,605	△ 36,342,311	△ 2,235,504	△ 465,405,529
(C) 信託報酬等	△ 44,763,610	△ 40,853,606	△ 42,194,795	△ 45,070,335	△ 41,635,156	△ 38,961,410
(D) 当期損益金 (A+B+C)	1,371,149,302	500,157,677	△ 37,201,557	△ 77,209,925	791,204,480	△ 502,951,953
(E) 前期繰越損益金	△3,109,050,039	△1,778,593,197	△1,319,337,941	△1,397,675,779	△1,513,735,699	△ 766,343,812
(F) 追加信託差損益金	△6,716,415,553	△6,671,688,060	△6,614,200,816	△6,563,387,310	△6,508,849,038	△6,446,810,663
(配当等相当額)	(514,087,222)	(510,992,598)	(506,890,665)	(503,238,337)	(499,294,347)	(494,819,291)
(売買損益相当額)	(△7,230,502,775)	(△7,182,680,658)	(△7,121,091,481)	(△7,066,625,647)	(△7,008,143,385)	(△6,941,629,954)
(G) 計 (D+E+F)	△8,454,316,290	△7,950,123,580	△7,970,740,314	△8,038,273,014	△7,231,380,257	△7,716,106,428
(H) 収益分配金	△ 52,926,888	△ 52,572,490	△ 52,118,049	△ 51,716,814	△ 51,285,947	△ 50,796,406
次期繰越損益金 (G+H)	△8,507,243,178	△8,002,696,070	△8,022,858,363	△8,089,989,828	△7,282,666,204	△7,766,902,834
追加信託差損益金	△6,716,415,553	△6,671,688,060	△6,614,200,816	△6,563,387,310	△6,508,849,038	△6,446,810,663
(配当等相当額)	(514,106,004)	(511,002,974)	(506,900,575)	(503,245,761)	(499,300,648)	(494,827,505)
(売買損益相当額)	(△7,230,521,557)	(△7,182,691,034)	(△7,121,101,391)	(△7,066,633,071)	(△7,008,149,686)	(△6,941,638,168)
分配準備積立金	2,425,928,391	2,463,052,942	2,468,962,315	2,484,132,860	2,526,887,337	2,526,544,279
繰越損益金	△4,216,756,016	△3,794,060,952	△3,877,619,862	△4,010,735,378	△3,300,704,503	△3,846,636,450

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第283期	第284期	第285期	第286期	第287期	第288期
(a) 配当等収益(費用控除後)	124,688,284円	106,270,288円	79,623,072円	86,135,165円	114,977,691円	74,857,458円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	514,106,004円	511,002,974円	506,900,575円	503,245,761円	499,300,648円	494,827,505円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	1,093,179,847円	1,156,982,699円	1,200,065,444円	1,218,000,440円	1,241,862,903円	1,292,945,894円
分配対象収益(a+b+c)	1,731,974,135円	1,774,255,961円	1,786,589,091円	1,807,381,366円	1,856,141,242円	1,862,630,857円
分配対象収益(1万口当たり)	327円	337円	342円	349円	361円	366円
分配金額	52,926,888円	52,572,490円	52,118,049円	51,716,814円	51,285,947円	50,796,406円
分配金額(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第283期	第284期	第285期	第286期	第287期	第288期
1 万口当たり分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第24期 運用状況のご報告
決算日：2026年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
20期(2022年3月25日)	21,164	2.0	461.28	1.9	90.7	—	69,040
21期(2023年3月27日)	20,501	△ 3.1	450.91	△ 2.2	87.7	—	53,865
22期(2024年3月25日)	23,302	13.7	515.05	14.2	92.1	—	52,236
23期(2025年3月25日)	23,718	1.8	521.24	1.2	97.3	—	46,419
24期(2026年3月25日)	26,140	10.2	574.06	10.1	94.8	—	43,177

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。（以下同じ。）

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「当ファンド」といいます。）の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社（以下、総称して「LSEグループ」といいます。）は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）（以下、「本指数」といいます。）にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または (b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

○当期中の基準価額と市況等の推移

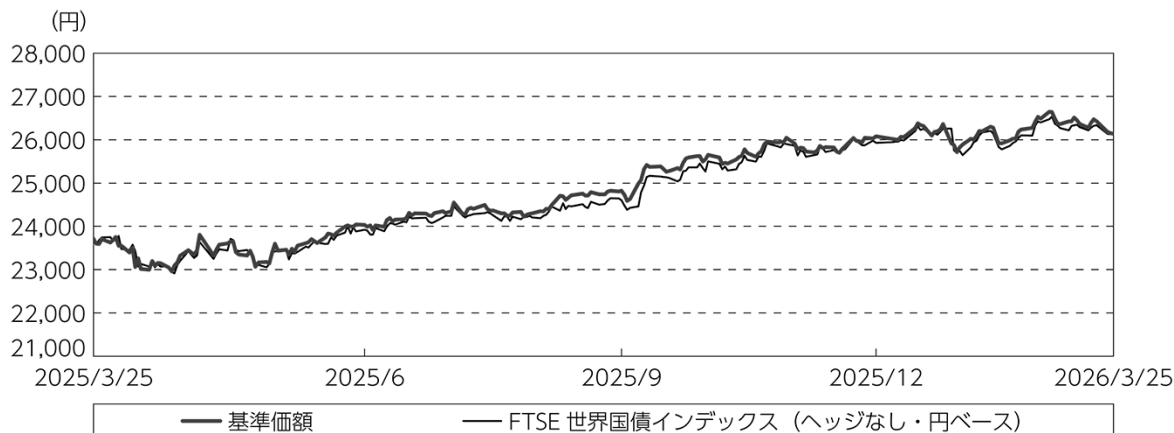
年 月 日	基 準 価 額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	ポ イ ン ト	騰 落 率		
(期 首) 2025年3月25日	23,718	—	521.24	—	97.3	—
3月末	23,627	△ 0.4	521.97	0.1	97.3	—
4月末	23,348	△ 1.6	511.43	△ 1.9	96.0	—
5月末	23,435	△ 1.2	514.96	△ 1.2	96.8	—
6月末	24,035	1.3	525.70	0.9	95.1	—
7月末	24,339	2.6	532.79	2.2	96.8	—
8月末	24,301	2.5	531.90	2.0	95.8	—
9月末	24,822	4.7	540.73	3.7	97.0	—
10月末	25,650	8.1	560.49	7.5	95.5	—
11月末	26,044	9.8	569.27	9.2	94.1	—
12月末	26,079	10.0	569.85	9.3	93.4	—
2026年1月末	25,888	9.1	563.66	8.1	93.0	—
2月末	26,487	11.7	580.28	11.3	96.8	—
(期 末) 2026年3月25日	26,140	10.2	574.06	10.1	94.8	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年3月26日～2026年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2025年3月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・先進国の国債に分散投資することにより、安定的な利息収入を確保したこと。
- ・投資しているすべての外国通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・多くの投資国の国債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。

投資環境

(2025年3月26日～2026年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、国別・地域別の金融政策やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の違いを反映し、2026年2月までは各国の国債利回りがまちまちな動きとなりました。しかし、3月に入ると、米国・イスラエルとイランの軍事衝突に伴う原油価格の急騰を背景にインフレへの警戒感が高まり、各国の国債利回りは急上昇（価格は急落）する展開となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、トランプ政権による相互関税の発表を受けて円が対米ドルで急上昇して始まりました。しかしその後、政権の強硬姿勢が徐々に和らいだことに加え、世界的な株高基調が続き投資家のリスク選好が優勢となったことから、円が主要通貨に対して軟調に推移しました。また、拡張的な財政政策と緩和的な金融政策を志向する高市首相の誕生も円安を後押しする要因となりました。2026年3月に入ると、原油価格の急騰に伴う日本の貿易収支悪化への懸念に加え、海外主要中央銀行の金融政策を巡る市場の織り込みが引き締め方向に修正されたことなどを背景に、円安基調が継続しました。この結果、当期においては、オーストラリアドルを筆頭に投資しているすべての外国通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月26日～2026年3月25日)

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.00年～7.72年の範囲内での推移となり、期末は6.31年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は84.1%～95.6%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される局面では、外貨建資産の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、ユーロ、イギリスポンドは高め、米ドル、円は低めとなりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資しておりません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月26日～2026年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.1%上回りました。債券要因は、ベンチマークと概ね同程度のパフォーマンスとなりました。為替要因は、ベンチマークと比較しオーストラリアドルの投資比率を高め維持したことがプラスに寄与しました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、米国・イスラエルとイランの軍事衝突の長期化への懸念が残る中、原油価格の上昇を通じたインフレ圧力の高まりが意識される局面にあります。一方、トランプ大統領は紛争の長期化を望んでいないと推測されることや、エネルギー価格の上昇が今後の世界経済の下押し要因として作用する側面も踏まえると、各国の長期金利の上昇余地は限定的と見ています。

為替市場では、原油価格の急騰に伴う日本の貿易収支悪化への懸念に加え、インフレ期待の高まりを受けて海外主要中央銀行が金融引き締め姿勢を強める一方、日銀は慎重な姿勢を維持すると予想されることなどを背景に、円安基調が続く可能性が高いと判断しています。また、日本の消費者や企業による海外デジタルサービスの利用拡大に伴うデジタル赤字の拡大など、構造的な円売り圧力も根強く、円安を後押しする要因になると見ています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年3月26日～2026年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.011	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	3	0.011	
期中の平均基準価額は、24,837円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2025年3月26日～2026年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 5,255,450	千円 4,729,105
	外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 125,139
カナダ		国債証券	千カナダドル 23,718	千カナダドル 42,051
ユーロ			千ユーロ 9,840	千ユーロ 15,959
ドイツ		国債証券	8,116	11,351
イタリア		国債証券	4,993	18,718
フランス		国債証券	千イギリスポンド 3,059	千イギリスポンド 3,020 (3,000)
イギリス		国債証券	千オーストラリアドル 105,252	千オーストラリアドル 106,032
オーストラリア	国債証券			

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2025年3月26日～2026年3月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年3月25日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,000,000	1,821,525	4.2	—	4.2	—	—
合 計	2,000,000	1,821,525	4.2	—	4.2	—	—

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第364回利付国債 (10年)	0.1	1,000,000	913,040	2031/9/20	
第379回利付国債 (10年)	1.5	500,000	471,685	2035/6/20	
第87回利付国債 (30年)	2.8	500,000	436,800	2055/6/20	
合 計		2,000,000	1,821,525		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 127,000	千米ドル 122,790	千円 19,481,985	% 45.1	% —	% 22.3	% 14.8	% 8.0
カナダ	千カナダドル 15,000	千カナダドル 14,493	1,671,854	3.9	—	3.9	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	20,000	18,867	3,481,225	8.1	—	8.1	—	—
イタリア	30,000	30,687	5,662,098	13.1	—	13.1	—	—
フランス	12,000	11,010	2,031,539	4.7	—	1.7	—	3.0
イギリス	千イギリスポンド 15,000	千イギリスポンド 13,284	2,832,116	6.6	—	5.1	1.5	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 39,000	千オーストラリアドル 35,440	3,934,984	9.1	—	9.1	—	—
合 計	—	—	39,095,804	90.5	—	63.3	16.3	11.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B 2.25		2.25	16,000	11,560	1,834,109	2041/5/15
	US TREASURY N/B 3.375		3.375	16,000	15,848	2,514,463	2027/11/30
	US TREASURY N/B 3.5		3.5	9,000	8,903	1,412,656	2028/10/15
	US TREASURY N/B 3.625		3.625	10,000	9,768	1,549,909	2031/9/30
	US TREASURY N/B 4		4.0	6,000	6,006	952,964	2027/1/15
	US TREASURY N/B 4.125		4.125	12,000	11,748	1,864,056	2036/2/15
	US TREASURY N/B 4.25		4.25	15,000	15,133	2,401,095	2029/6/30
	US TREASURY N/B 4.375		4.375	6,000	6,035	957,612	2034/5/15
	US TREASURY N/B 4.625		4.625	7,000	7,146	1,133,873	2035/2/15
	US TREASURY N/B 4.625		4.625	6,000	5,700	904,510	2055/11/15
	US TREASURY N/B 4.75		4.75	9,000	8,724	1,384,209	2055/8/15
	US TREASURY N/B 6.25		6.25	15,000	16,214	2,572,523	2030/5/15
小 計						19,481,985	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA-GOV'T 3		3.0	15,000	14,493	1,671,854	2034/6/1
小 計						1,671,854	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 2.3	2.3	7,000	6,759	1,247,114	2033/2/15
		DEUTSCHLAND REP 2.5	2.5	10,000	9,633	1,777,477	2035/2/15
		DEUTSCHLAND REP 2.5	2.5	3,000	2,474	456,634	2054/8/15
イタリア	国債証券	BTPS 3.45	3.45	5,000	5,017	925,695	2031/7/15
		BTPS 3.6	3.6	8,000	7,822	1,443,370	2035/10/1
		BTPS 4.4	4.4	17,000	17,847	3,293,032	2033/5/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	2,000	1,151	212,478	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	7,000	7,000	1,291,686	2026/9/24
		FRANCE O. A. T. 3	3.0	3,000	2,858	527,375	2034/11/25
小 計						11,174,864	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
国債証券	UK TSY GILT 3.25		3.25	8,000	7,329	1,562,495	2033/1/31
	UK TSY GILT 3.75		3.75	4,000	2,963	631,809	2053/10/22
	UK TSY GILT 4.375		4.375	3,000	2,991	637,811	2030/3/7
小 計						2,832,116	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 3.5		3.5	26,000	23,250	2,581,474	2034/12/21
	AUSTRALIAN GOVT. 4.25		4.25	13,000	12,190	1,353,510	2036/3/21
小 計						3,934,984	
合 計						39,095,804	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	40,917,329	91.9
コール・ローン等、その他	3,615,222	8.1
投資信託財産総額	44,532,551	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(39,596,323千円)の投資信託財産総額(44,532,551千円)に対する比率は88.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=158.66円、1カナダドル=115.35円、1ユーロ=184.51円、1イギリスポンド=213.19円、1オーストラリアドル=111.03円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	44,532,551,470
コール・ローン等	1,767,851,403
公社債(評価額)	40,917,329,583
未収入金	1,416,149,931
未収利息	378,077,069
前払費用	53,143,484
(B) 負債	1,355,357,644
未払金	1,355,357,644
(C) 純資産総額(A-B)	43,177,193,826
元本	16,517,521,214
次期繰越損益金	26,659,672,612
(D) 受益権総口数	16,517,521,214口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,140円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2,6140円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は19,571,615,994円、期中追加設定元本額は8,764,786円、期中一部解約元本額は3,062,859,566円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)	16,379,805,514円
ワールド・ソブリンインカム(1年決算型)(愛称 十二単衣(1年決算型))	91,709,120円
DCワールド・ソブリンインカム	46,006,580円

○損益の状況 (2025年3月26日~2026年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,595,901,739
受取利息	1,595,901,739
(B) 有価証券売買損益	2,729,031,834
売買益	3,898,060,138
売買損	△ 1,169,028,304
(C) その他費用等	△ 4,844,909
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,320,088,664
(E) 前期繰越損益金	26,848,079,279
(F) 追加信託差損益金	12,844,632
(G) 解約差損益金	△ 4,521,339,963
(H) 計(D+E+F+G)	26,659,672,612
次期繰越損益金(H)	26,659,672,612

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日:2025年4月1日)